

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2025年1月10日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

【2025】大学入学共通テスト本番、頑張る受験生を応援します！**5夜連続 東進講師陣からの直前激励メッセージ公開****受験生に贈る珠玉の言葉の数々を、東進ドットコム・東進タイムズで特別公開**

東進ハイスクール・東進衛星予備校などを運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市 代表取締役社長 永瀬昭幸)は、東進の実力講師陣から受験生への「直前激励メッセージ」を、東進ドットコム・東進タイムズで特別公開いたします。

東進ドットコムの「大学情報・入試情報」のサイトでは、東進の実力講師陣からの激励メッセージを、1月13日(月)より5夜連続で公開。入試直前で不安な時や、やる気が出ない時に読めば、勉強への意欲が湧いてきます。また、同内容は「1月の学習アドバイス」として東進タイムズ 2025年1月1日号に掲載しています。

1月18日(土)、19日(日)の共通テスト本番に向けて、最後まで頑張る受験生を、東進は応援しています。

東進ドットコム「大学情報・入試情報」 <https://www.toshintimes.com/>**【メッセージの一部をご紹介します】****■最後まで問題に食らいつく 武藤 一也先生(英語)**

自分がやってきたことを信じてください。試験会場では、問題を解いているときにどうしても弱気になることがあります。でも、歯を食いしばって、なんとか解けるところはないか、なんとか点を取れないか、どこかに根拠があるはずだと、問題に食らいつく。そういった強い気持ちを最後まで持つことが大切です。

■焦らず徹底的な復習を 沖田 一希先生(数学)

いままで一生懸命やってきた人ほど焦る気持ちは強くなりがちです。焦る気持ちが先立ち、結局十分な対策ができなかったとなっちはいけません。追い込みをかける前に、まずは最低限やることを決めてください。残された時間を計算し、欲張らずに大胆にやることを絞るのです。

■彼を知り己を知れば百戦殆からず 富井 健二先生(古文)

共通テスト直前に古文単語や古典文法の知識の確認に必死になる人が多いようですが、そればかりに固執するのはおススメしません。本当に重要な古文単語(400語程度)や古典文法(助動詞・助詞・識別)のチェックだけに絞って、後は過去問や模試の結果を冷静に判断し、失点した箇所を重点的に強化する。そして当日までに現代文・古文・漢文の時間配分・ペース配分を決めておくといいですね。

■「成長できる宝」を最後まで徹底して復習する 高柳 英護先生(物理)

演習を通じて解けなかった問題は自分にとっての「成長できる宝」です。「なぜ解けなかったのか?」「その現象を最初自分がどのように捉えたのか?」「どのような考え方が間違っていたのか?」「どう考えるべきだったのか?」に時間をかけてください。それを徹底すれば着実に得点につながると信じています。

■諦めない者にだけ勝利の女神は微笑む 山岡 信幸先生(地理)

新課程で実施される初めての共通テストですが、本質は過去の出題と変わりません。知らないから解けない」という問題はありません。初見の資料や未習の用語があっても、基本的な理解や読解力によって「解けるように作られている」ものです。地理は直前に伸びます。最後の1秒まで諦めなかった者にだけ、勝利の女神は微笑みます。



受験生におススメ! 合否判定システムも登録受付中

「東進 大学入学共通テスト合否判定システム」

www.toshin.com/hantei_sys

受験生の1.6人に1人が利用。

国公立大学、共通テスト利用私大はもちろん、私大一般選抜の判定もできます。

【株式会社ナガセについて】

1976年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。

有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、シェアNO.1の『予習シリーズ』と最新のAI学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進ハイスクール中学部」「東進中学NET」、私大総合・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、幼児から英語で学ぶ力を育む「東進こども英語塾」、メガバンク、大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れたAI人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」、幼児～中学生対象の世界標準のプログラミング学習「東進CODE MONKEY」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。

また、東京五輪で競泳個人メドレー2冠の大橋悠依をはじめ、のべ53名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com